科目コード	N22202	科目名	人体の構造と機能Ⅰ（基礎2）				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	原田耕志						
授業の概要	人体の構造と機能Ⅰ（基礎１）に引き続き、看護に従事するものにとって、最も基礎となる人体の構造と機能について学修する。すべての生命体は外界からの刺激を受け止め、外界とのやりとりを通して個体の維持をしながら、生きていくこと、種を保存させていくことなど脳の構造と機能とともに残りの免疫系、内分泌系、感覚器系、生殖器系について学修し、全系統を網羅し、看護の観点と結びつけて学修する。						

DPとの関連		
	①平和を希求する姿勢を身につける	－
	②豊かな教養を身につける	－
	③高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける	○
	④看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける	◎
	⑤地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける	－
	⑥自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける	－
	⑦多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける	○
	⑧社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける	△
	⑨異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける	－
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	１．基本的な人体の構造と機能につていて説明できる。 ２．人体の構造と機能について、看護につながる形態機能の側面で説明ができる。 ３．全身の構造と機能について系統的に説明ができる。
履修上の注意事項	資料はc-ラーニングの教材倉庫にアップします。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	呼吸器（基礎）【原田耕志】	呼吸器について確認する。
2	呼吸器（応用）【原田耕志】	呼吸器について確認する。
3	循環器（基礎）【原田耕志】	循環器について確認する。
4	循環器（応用）【原田耕志】	循環器について確認する。
5	消化器（基礎）【原田耕志】	消化器について確認する。
6	消化器（応用）【原田耕志】	消化器について確認する。
7	中間テスト【原田耕志】	テスト勉強を行う
8	運動器（基礎）【原田耕志】	運動器について確認する。
9	運動器（応用）【原田耕志】	運動器について確認する。
10	血液（基礎）【原田耕志】	血液について確認する。
11	血液（応用）【原田耕志】	血液について確認する。
12	免疫【原田耕志】	免疫について確認する。
13	アレルギー【原田耕志】	アレルギーについて確認する。
14	総まとめ１【原田耕志】	全般について確認する。
15	総まとめ２【原田耕志】	全般について確認する。

成績評価方法	定期試験100%、出席日数、中間試験結果を総合的に判断する ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	指定なし	978-4-8392-1688-7
参考書	指定なし	

教員からのメッセージ	わからないところはそのままにせず、講義中、講義終了後などに質問してください。対応しますので、どうぞ、遠慮なく願いします。
教員との連絡方法	c-learning、大学専用のe-mail でお願いします
実務経験のある教員	